

この度、駐箚エルサルバドル共和国特命全権大使として7月30日に着任しました樋口和喜(ひぐちかずよし)です。

私は1979年に早稲田大学を卒業し住友商事株式会社に入社、海外業務部中南米課で中米市場調査、店舗運営を担当しその後、自動車製造設備、部品の輸出入を始め自動車部品製造投資に従事しておりました。

その内、メキシコ駐在4回、通算16年の間でスペイン語習得、中南米ローカルマネジメント、ビジネス創出、人材育成の経験を積み、6月に発令を拝命しました。

エルサルバドルには、過去2回、1日の出張経験のみでしたが、今回の発令に伴い見聞きしたこと、実際に感じたことから、当国は非常な親日国家であり「中米の日本」とも称されるほど、国民は勤勉で家族や友人を大切にする美德を有し、ややシャイな性格であることも類似している点があると理解しております。

また、自然環境面では天然資源が少なく地震、洪水などの天災もあり日本との共通点も見られます。

エルサルバドルと日本は、2015年に外交関係樹立80周年を迎え、眞子内親王殿下のご来訪を迎え記念行事を開催、当国と日本との友好親善関係の増進がなされてきております。

今後とも国益と国際公益の向上を目指しつつ、当国の経済・社会発展への貢献や文化交流などによる日本のプレゼンス向上、更に在留邦人の安全の確保に努めていきたいと考えております。

2017年8月